

多目的電気乾燥機 DSS-18

DSS-18

多目的電気乾燥機

取扱説明書

保証書付



- この取扱説明書をよくお読みの上、取扱説明書に従って運転操作・保守・点検を行ってください。
- この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測・想定できているわけではありません。
従って、機械の運転・保守・点検及び組立を行う場合は、取扱説明書に記載および機械に表示している事項に限らず、安全対策には十分に配慮してください。
- この取扱説明書は、必要な時にいつでも調べられるように、大切に保管してください。
- この取扱説明書についてご不明点がございましたら、購入先または弊社営業所か、本社営業部(末尾の連絡先参照)にお問い合わせください。

 静岡製機株式会社

まえがき

この取扱説明書には、この製品を安全にお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は、 危険、 警告、 注意に区分されています。

表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。



警告

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※「 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

もくじ

| | | |
|---------------|-------------|-----|
| まえがき | 2 | ページ |
| 安全のための注意事項 | 3~4 | ページ |
| 機械の使用目的・使用範囲 | 5 | ページ |
| 安全装置の説明 | 5 | ページ |
| 各部の名称 | 6~7 | ページ |
| 設置方法・注意事項 | 8~10 | ページ |
| 安全ラベルの一覧 | 11 | ページ |
| 外観寸法図 | 12 | ページ |
| 使用方法 | | |
| 使用上の注意事項 | 13 | ページ |
| 本体(台車)の使用について | 14 | ページ |
| 初回試運転について | 15 | ページ |
| 使用できるトレイについて | 15 | ページ |
| 運転方法 | 16~20 | ページ |
| 干芋乾燥運転の仕方 | | |
| 電気乾燥運転の仕方 | | |
| 吸気調整について | | |
| 冷却運転設定について | | |
| 干芋以外の乾燥物の場合 | | |
| 日常点検と保管管理 | 21~24 | ページ |
| 故障かなと思った時には | 25~26 | ページ |
| 製品仕様 | 27 | ページ |
| 保証とアフターサービス | 27 | ページ |
| 製品保証・問い合わせ先 | 28 | ページ |

安全のための注意事項

※下記の項目は、この製品をお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。
ご使用前にお読みください。



危険

- 1 アースは必ず取り付けてください。
 - 感電防止の為、アースは必ず取り付けてご使用ください。また、漏電ブレーカーを設置したコンセントを使用してください。
 - アース線は、ガス管・水道管・避雷針用のアース線、または電話のアース線に接続しないでください。
 - アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。アース線は確実につないでください。
- 2 可燃性物質や引火性物質は製品周りに置いたり、乾燥物として乾燥しないでください。
爆発または火災の危険があります。



警告

- 1 濡れた手で漏電ブレーカーのスイッチを触るなどの操作をしないでください。
感電の危険があります。
- 2 製品外部や電装部に水をかけないでください。
漏電や故障の原因になります。
- 3 改造はしないでください。
正常に動作しなくなるにより、火災、感電の恐れがあります。
- 4 修理資格者以外の方は分解修理は行わないでください。
正常に動作しなくなるにより、火災、感電の恐れがあります。
- 5 点検や掃除のときには必ず元電源を切ってから作業してください。
感電などの危険があります。
- 6 屋内専用機です。軒下、屋外では使用できません。
また、屋内でも天井から水滴の垂れる場所では使用できません。
水濡れによるショートや漏電の危険、サビ発生による故障の恐れがあります。
- 7 ファンの吸入口・吹出口には指や棒を入れないでください。
回転部に触れてケガをする恐れがあります。
- 8 付属品電源プラグの配線接続は確実に行ってください。
漏電や火災につながる恐れがあります。
- 9 電源プラグは本体側の電源インレットの根元までしっかりと差し込んでください。
差込が甘いと局所過熱が発生し、火災の原因になります。
- 10 電源プラグと電源インレットは定期的に水濡れ、ホコリ堆積が無いように確認してください。
漏電やトラッキング火災の原因になります。
- 11 電源プラグは指示した3.5mm²サイズ以外のコードを接続しないでください。
コードが過熱し、火災の原因になります。

- 12 定期的に清掃を行ってください。
内部のヒーターにホコリが堆積するなどして、火災の原因になります。
- 13 庫内の清掃では高圧洗浄機などの洗浄装置を使用しないでください。
電気部品が水濡れし、漏電が発生する可能性があります。



注意

- 1 落雷の恐れがある時は電源プラグを抜いてください。
落雷により製品が破損する恐れがあります。
- 2 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
絶縁劣化により感電や火災の原因になります。
- 3 本製品を使用する床面は水平な コンクリート 又はそれに相当する強固な床面の上で使用してください。
本体に歪みが発生し、台車が庫内に入れられなくなる可能性があります。
また、本体の隙間から結露水が漏れる原因になります。
- 4 運転中・運転終了直後にトレイや庫内に触ると火傷の危険があります。
手袋を使用し、取り扱いをしてください。
- 5 外気温度が35℃を超える環境ではご使用にならないでください。
35℃を超える環境で使用されると機器に不具合が生じる場合があります。
- 6 塩そのものや、腐食性ガスを発生するような乾燥対象物には使用しないでください。
機械が腐食し、故障の原因になります。
- 7 乾燥中に庫内で舞い上がる恐れのある物(粉物、紙等のシート類)は乾燥対象物には使用しないでください。熱交換器のつまりやファンの故障につながる恐れがあります。
- 8 本体の清掃の際に揮発性溶剤(例えばベンジンやシンナーなど)や強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わないでください。
機械の安全性に悪影響を与える恐れがあります。
- 9 乾燥庫の近くには肥料などの金属を腐食させるものを置かないでください。
本体にサビが発生する原因になります。
- 10 トレイ受けの耐荷重は均等荷重で 12kgです。トレイも重さに対応した物をご使用ください。
耐荷重以上の重さをかけたり、集中的に荷重がかかるとトレイ受けが変形する恐れがあります。
- 11 ドアの開け閉めはやさしく行なってください。
また、開閉方向以外には無理な力を掛けないでください。
ドアを激しく開け閉めしたり、開閉方向以外に無理に力が掛かると、蝶番に負荷がかかり、ドアが傾く原因になります。
- 12 ドアの取っ手で乾燥機本体を動かさないでください。
蝶番に負荷がかかり、ドアと本体の隙間発生の原因になります。
本体側面に付いている取っ手を使用して本体を動かすようにしてください。
- 13 本体を移動させる場合は必ず電源プラグを抜いてください。
移動中にぶつけて破損する恐れがあります。

機械の使用目的・使用範囲

使用目的

この機械は、熱風乾燥方式を利用した多目的電気乾燥機です。

本製品は食品衛生機械の安全及び衛生に関する設計基準通則の全てに適合している製品ではありません。

この機械では、滅菌・除菌・殺菌処理はできません。

使用範囲

乾燥できるもの

- 果物・野菜類
- 干芋（干す前の蒸し芋の状態）

乾燥できないもの

- 塩そのものや、発酵食品、腐食物、腐食性ガスを発生させるもの。
- シイタケ等の胞子が舞う物。乾燥中に庫内で舞う恐れのあるもの。（粉物・紙などのシート類）
- 薬品、肥料、溶剤。
- 設定温度以上に加熱された物、冷凍された物。
- 可燃性物質や引火性物質。

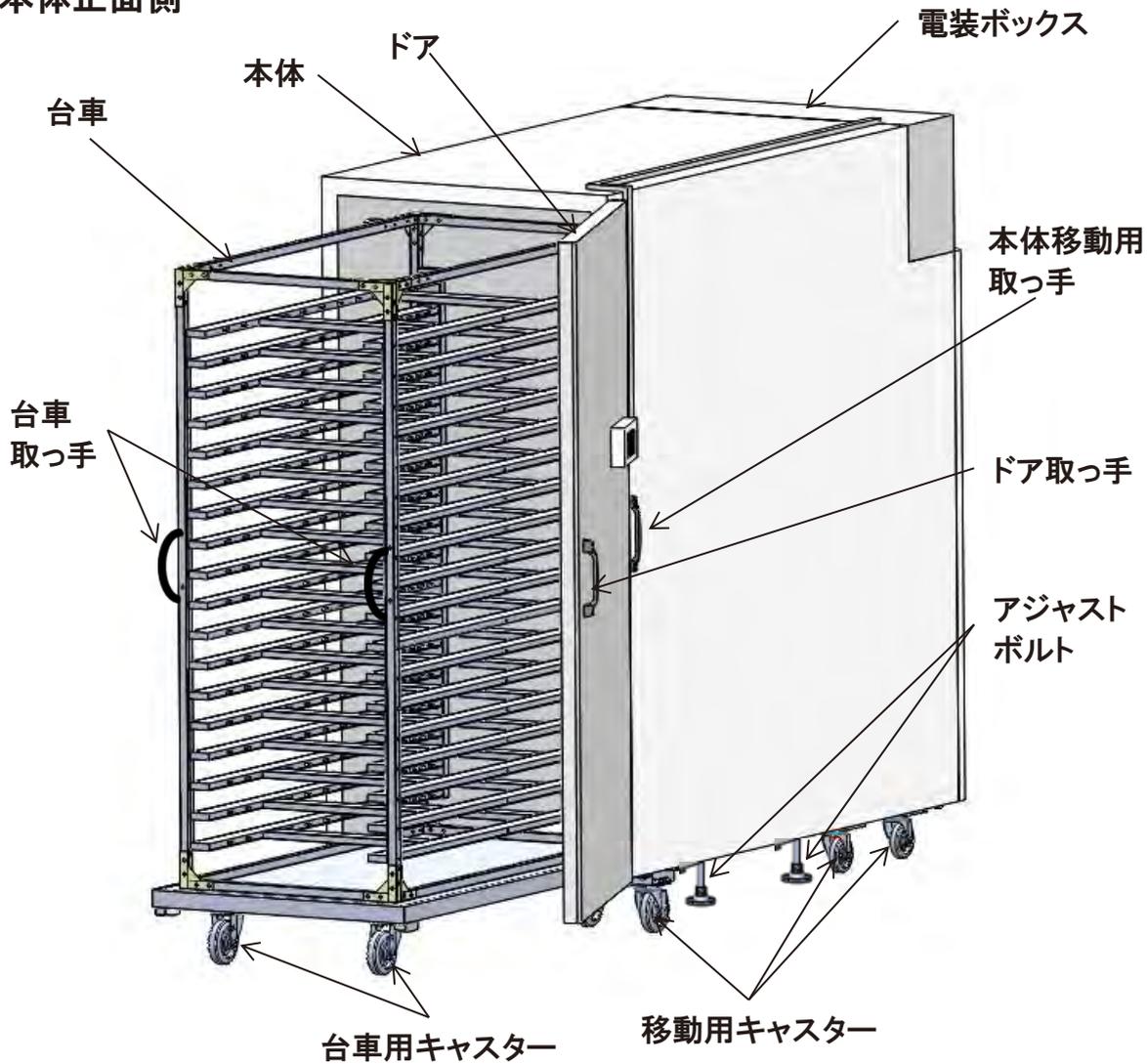
- 庫内に入れるものは鮮度の良い物を入れてください。
鮮度の悪い乾燥物や温度条件によっては、雑菌等の繁殖を促進させる場合があります。
- 乾燥前の食材下処理を行う場合は、器具を含む十分な水洗いを行い、手袋等を着用するなどの衛生管理措置を講じてください。

安全装置の説明

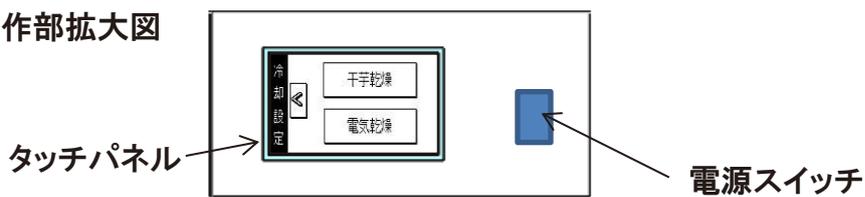
| | |
|-------------------|--|
| 漏電ブレーカー | 製品で漏電が発生、又は回路上で短絡が発生した場合、電源を遮断します。 |
| 過熱防止器 (ヒーター) | ヒーター部が過熱した場合、ヒーターへの通電を遮断します。 作動状態：警報表示を出して、全ての機器が停止します。 |
| 過熱防止器 (ヒートシンク) | ヒートシンク部が過熱した場合、ヒーターへの通電を遮断します。 作動状態：警報表示を出して冷却運転30分後 全ての機器が停止します。 |
| 循環ファンモーター過負荷保護 | 循環ファンモーターが過負荷になると全ての機器の電源を遮断します。 作動状態：警報表示を出して、全ての機器が停止します。 |
| 過電流保護 (ヒューズ) | 吸気ファンモーターに過電流が流れると電気回路を遮断します。 作動状態：吸気ファンが停止します。 ※警報表示はされません。 |
| 過電流保護 (ヒューズ) | トランスに過電流が流れると電気回路を遮断します。 作動状態：タッチパネルが消灯し、全ての機能が停止します。 |

各部の名称

本体正面側



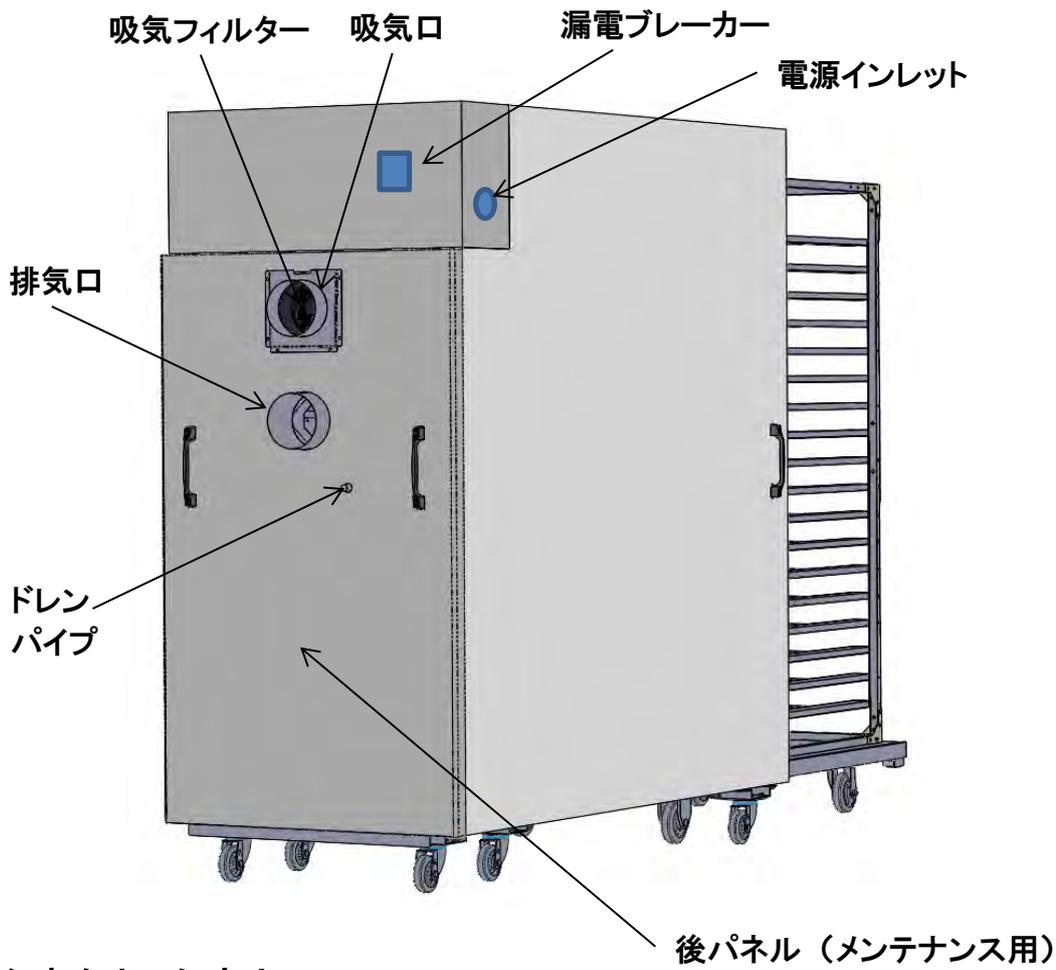
操作部拡大図



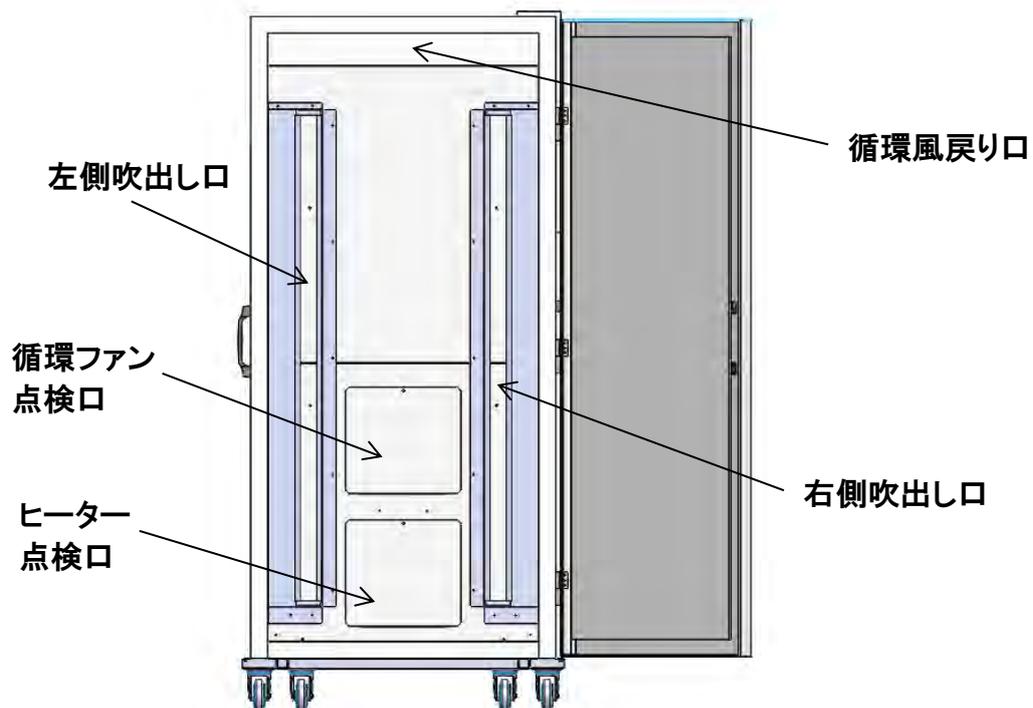
| | | | |
|--------------|------|--------------|----|
| ■取扱説明書 | 1冊 | ■ストッパー類取付説明書 | 1枚 |
| ■電源コネクター | 1個 | ■アンカー固定金具 | 4個 |
| ■アルミダクト 3.5m | 1本 | ■ドアストッパー | 1個 |
| ■ダクト用バンド | 1個 | ■タレ防止金具 | 1個 |
| ■吸気・排気カバー | 2個 | ■タレ防止キャスター | 1個 |
| ■ドレンホース 1m | 1本 | ■M5ネジ | 6本 |
| ■防虫キャップ | 1個 | ■M4ネジ | 4本 |
| ■ホースサドル | 2個 | | |
| ■M4タッピンネジ | 4本 | | |
| ■掃除ブラシ | 1セット | | |

付属品

本体背面から見たところ



台車を出した庫内



設置方法・注意事項

梱包開梱後は、本体側面の取っ手を使って乾燥機の設置場所まで移動させてください。本体から台車を出して、別々で移動させた方が移動させやすいです。

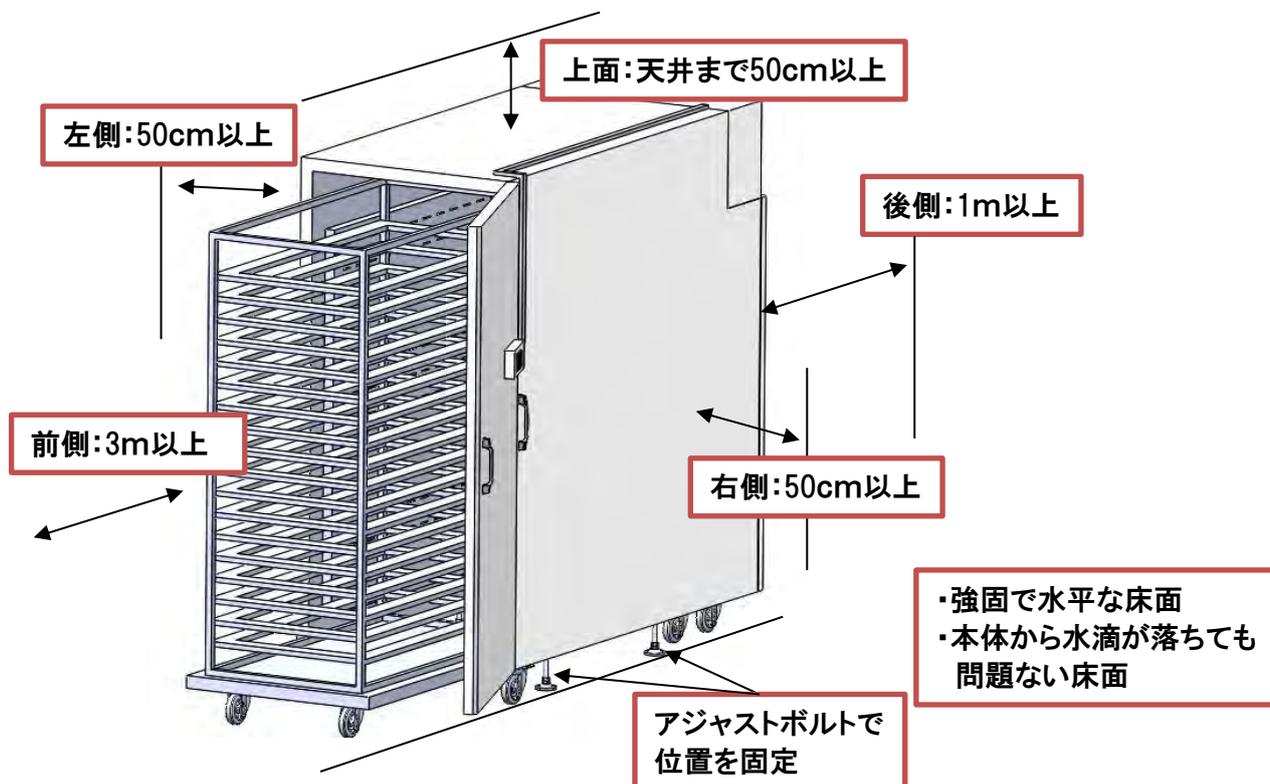


注意

ドアの取っ手で乾燥機本体を動かさないでください。
蝶番に負荷がかかり、ドアと本体の隙間発生の原因となります。
本体側面に付いている取っ手を使用して本体を動かすようにしてください。

設置場所について

- ・本製品は必ず屋内に設置してください。(本製品は屋内用です。)
位置を決めた後は、アジャストボルトを下ろし、位置を固定してください。
- ・本製品は強固で水平な床面に設置してください。
- ・乾燥中に、本体と台車の隙間・ドアと本体の隙間等から湿気や水滴が出る場合があります。
水滴が落ちて問題のない床面に設置してください。
- ・本製品のまわりは点検が容易なように十分な空間を確保してください。
上面 50cm以上 裏面 1m以上 左右側面 50cm以上
- ・本体の前側から台車が出し入れできる空間を確保して下さい。
台車を出し入れするには 3m以上必要です。



警告

屋内専用機です。軒下、屋外では使用できません。
また、屋内でも天井から水滴が垂れる場所では使用できません。
水濡れによるショート・感電の危険、サビ発生による故障の恐れがあります。



注意

本製品を使用する床面は水平なコンクリート、またはそれに相当する強固な床面の上で使用してください。
本体に歪みが発生し、台車が庫内に入れられなくなる可能性があります。
また、本体の隙間から結露水が漏れる原因になります。

電気契約・電源コード

- ・電気契約は 動力契約 5kW以上が必要です。
電源は電力会社の供給する電源を使用してください。
発電機・インバーター等の電源は使用しないでください。故障の恐れがあります。
- ・この製品の最大電流値は 13.4/13.7A (50/60Hz)です。
- ・附属品の電源コネクタ(明工社製 MC2644)を使用し、本体までの電源コードを作製してください。電源コードは電圧降下起きないようにするために、3.5mm²のキャブタイヤコードを使用し、長さは5m以内にしていただくようにお願いします。



危険

アースは必ず取り付けてください。
アースが不完全な場合は感電の恐れがあります。



警告

- ・附属品電源プラグの配線接続は確実に行ってください。
漏電や火災につながる恐れがあります。
- ・電源プラグは指示した3.5mm²以外のコードを接続しないでください。
コードが過熱し、危険です。
- ・電源プラグは本体側の電源インレットの根元まで差し込んでください。
差し込みが甘いと局所過熱が発生し、火災の原因になります。

附属品の取り付け

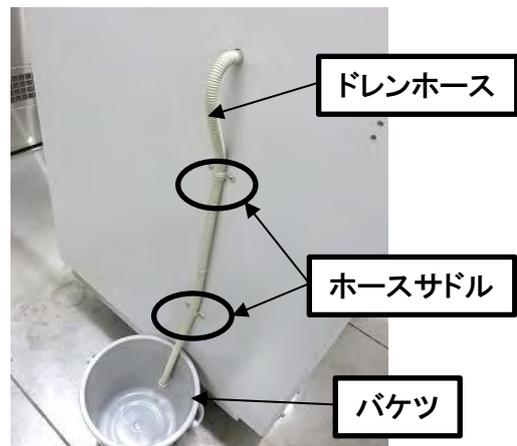
① ドレンホース・防虫キャップ付き ホースサドル

本体背面のドレンパイプにドレンホースを取り付けます。

ドレンホースを附属のホースサドルを使って固定してください。

ドレンホースの出口にバケツ等を置いて、ドレン水を受けてください。

バケツは 10L 以上の物で、乾燥毎に溜まった水を捨ててください。



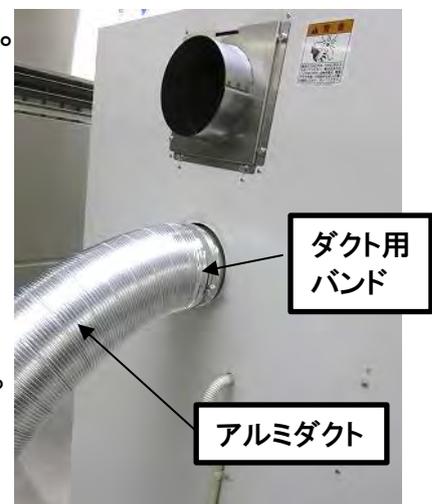
② アルミダクト・ダクト用バンド

吸気口・排気口に付いている 吸気・排気カバーを外します。
※吸気・排気口カバーはシーズン終了後、保管の際に使用します。捨てないでください。

アルミダクトを排気口に取り付け、外れないようにダクトバンドで締めます。

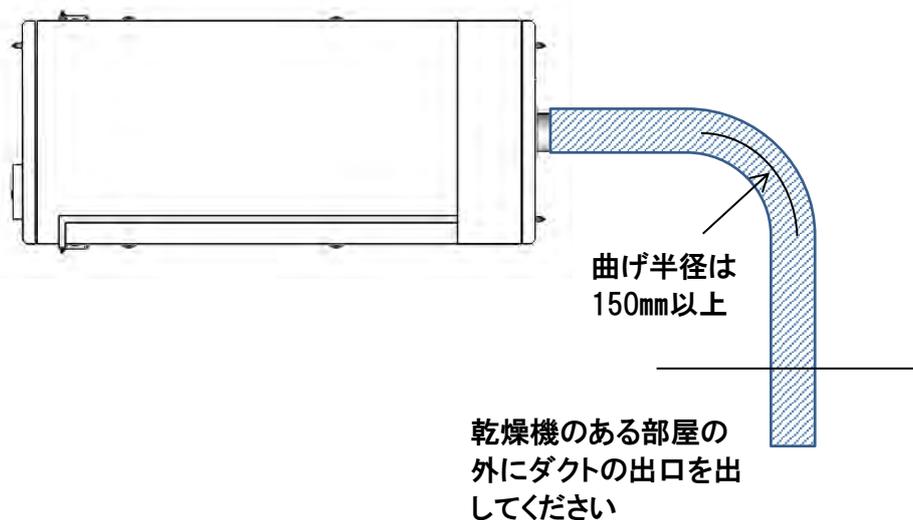
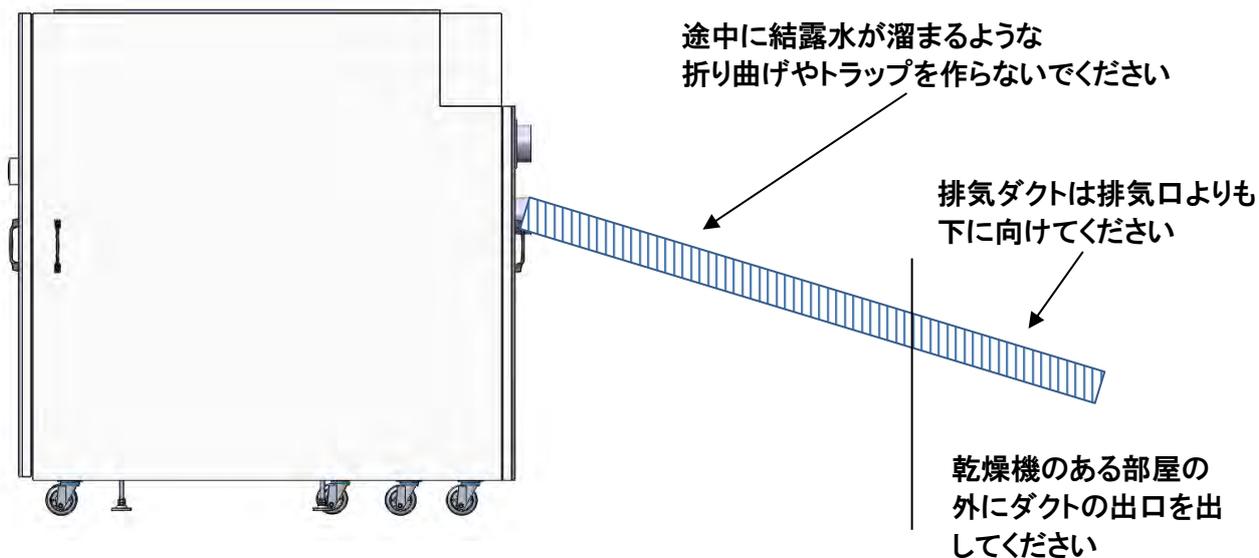
アルミダクトを伸ばし、排気からの湿気が吸気側に戻らないように外に出してください。

アルミダクトの内径は $\phi 150$ です。
排気ダクトの取り回しについては次ページに従ってください。

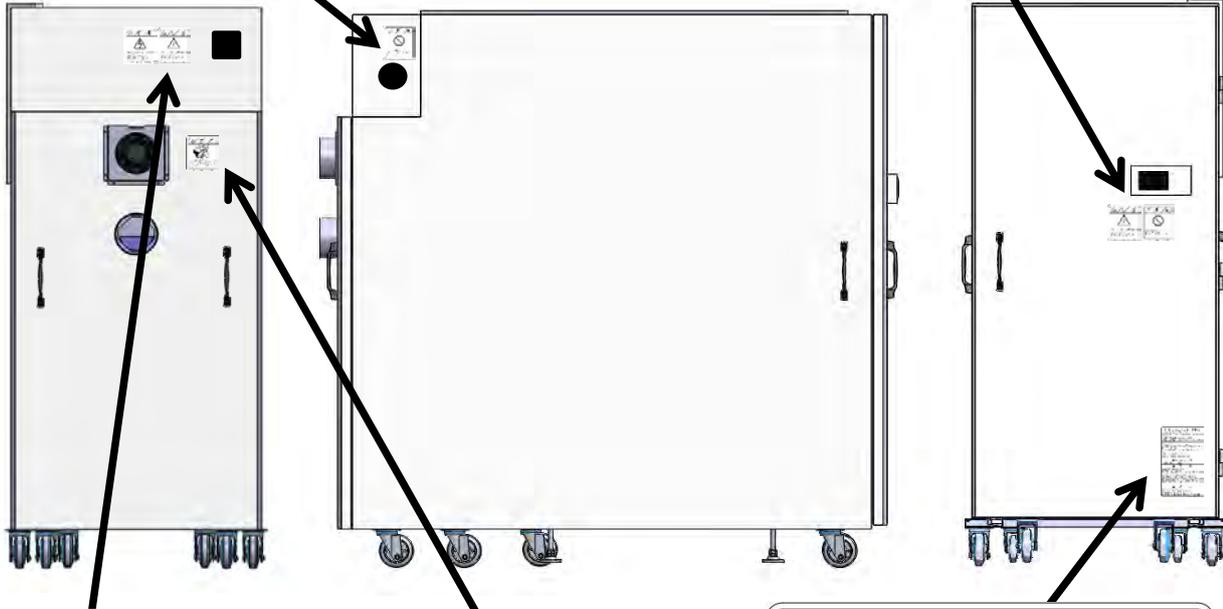


排気ダクトの取り回しについて

- ① 乾燥運転中は排気ダクト内が結露して水が溜まる場合があります。排気ダクトは必ず下側に向け、トラップが出来ないように注意してください。
- ② 本製品の排気口からは、湿気のある排気が出ます。乾燥運転時、排気を乾燥機のある部屋から外に出すようにしてください。吸気口から排気の湿気を吸うと、正しく乾燥できない場合があります。
- ③ 排気ダクトを曲げる場合は、曲げ半径を150mm以上取って曲げてください。曲げ半径が小さいと排気の抜けが悪くなり、正しく乾燥できない場合があります。また、ダクトを潰さないようにお願いします。



安全ラベルの一覧



重要 設置に関する注意事項

本体は必ず、強固で水平な床面に設置してください。
傾いて設置されるとスキマが発生し、庫内から湿気が漏れて結露の原因になることがあります。
また、傾いた状態では台車の出し入れがしにくくなります。
乾燥物によっては庫内底部に水が溜まり床に垂れることがあるので、水が垂れても問題のない場所に設置してください。

- 台車の取扱いについて
台車の耐荷重は216kgです。耐荷重以上に物を載せないでください。
- また、台車の床に直接荷重をかけないでください。変形のおそれがあります。
- メンテナンスについて
メンテナンス等は必ず電源コネクターを抜き、保護具を着用してから行ってください。
- 台車を洗うときは本体から出して水洗いしてください。
本体は水拭きをしてください。
吸気フィルターや熱交換器は定期的に清掃してください。

安全上のご注意

取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。

警告

- 3相200V電源を単独で使用してください。
- 本体に水をかけたりしないでください。
- メンテナンスの際は必ず電源コネクターを本体から抜き、濡れた手で抜き差ししないでください。
- 修理技術者以外の人は、分解や修理・改造を行わないでください。
- 屋内専用機の為、軒下や屋外、水に濡れる場所では使用できません。
- 電源プラグは指定した3.5mm²サイズ以外のコードを接続しないでください。
- 電源プラグは本体の電源インレットの根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグは定期的に確認し、水濡れ、ホコリ堆積がないようにしてください。

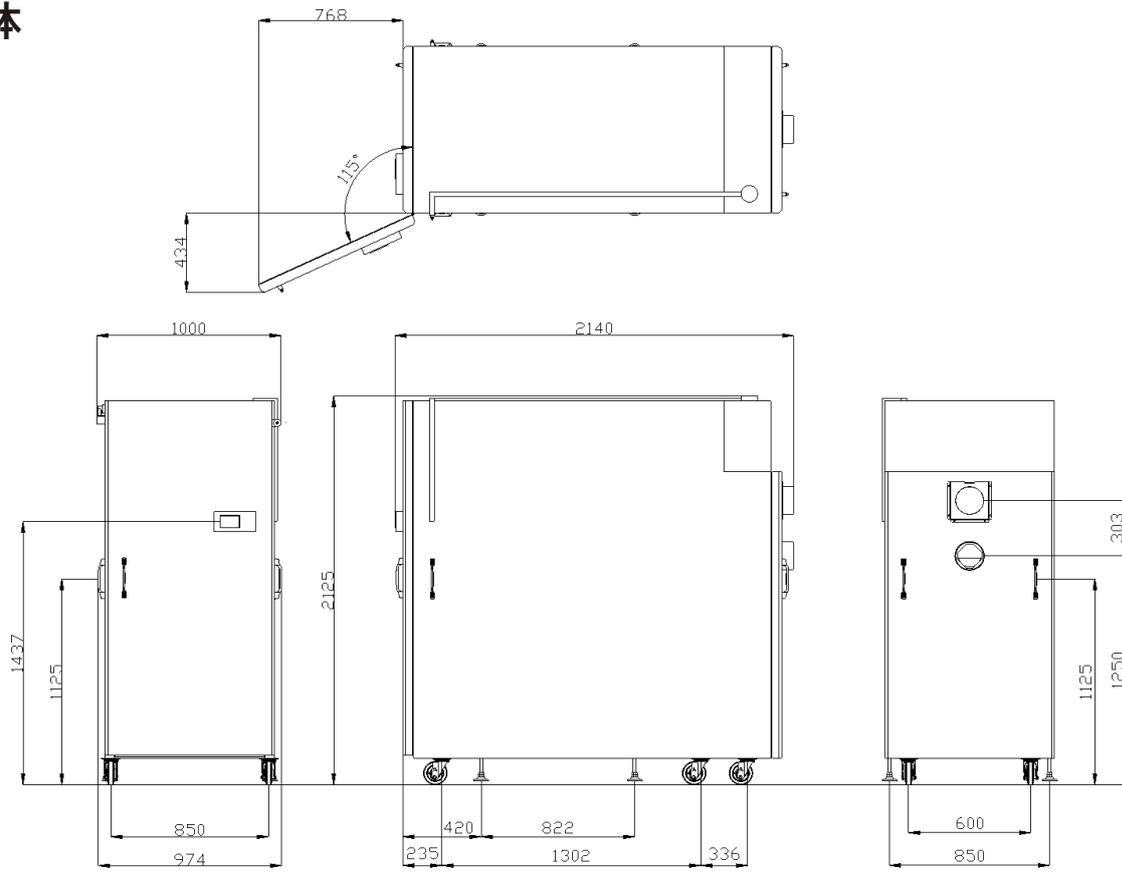
注意

- ドアは必ず取手を持って開けてください。
- 外気温度が35℃以上を超える環境では使用できません。
- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 乾燥中に庫内に舞うおそれのある物は、舞わないように工夫してください。

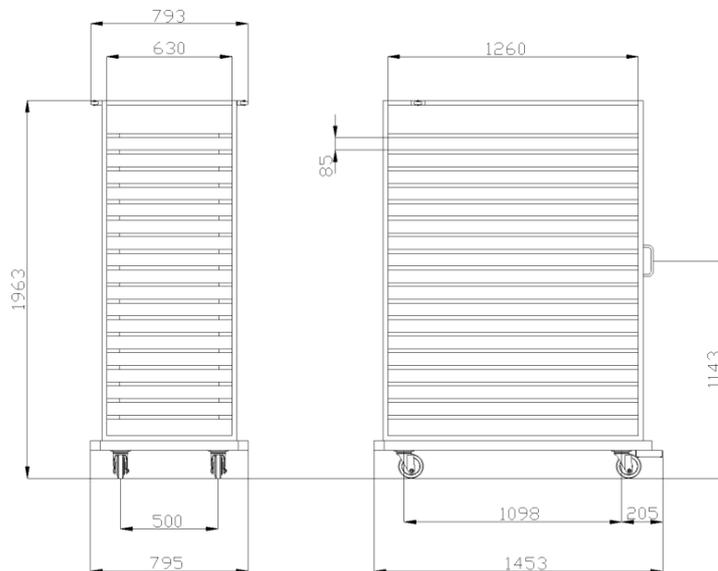
>PET< 10037-200023

外観寸法図

本体



台車



キャスター

| 使用部位 | | タイプ | 車輪サイズ (mm) | 車幅 (mm) | 材質 | 使用数 | その他 |
|------|-----|-----|------------|---------|-------|-----|------|
| 本体 | ドア側 | 自由車 | φ100 | 38 | ステンレス | 2 | ロック付 |
| | 奥側 | 自由車 | φ100 | 38 | ステンレス | 4 | |
| 台車 | 奥側 | 固定車 | φ125 | 38 | ステンレス | 2 | |
| | 取手側 | 自由車 | φ125 | 38 | ステンレス | 2 | |

使用方法

使用上の注意事項

| 注意事項 | 注意事項が守れなかった場合の不具合 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 機器の取り扱いについて | |
| 1 ドアには上から力を加えないでください。 | ドアと蝶番の位置関係がズレ、ロックを掛けにくくなります。 |
| 2 ドアの開け閉めはやさしく行なってください。 | ドアを激しく開け閉めすると、蝶番に負荷がかかり、ドアが傾く原因になります。 |
| 3 乾燥庫の近くには肥料などの金属を腐食させるものを置かないでください。 | 本体にサビが発生する原因になります。 |
| 4 運転中・運転終了直後にトレイや庫内に触ると火傷の危険があります。 | 手袋を使用し、取り扱いをしてください。 |

乾燥について

| | |
|---|--|
| 1 初めての場合はまず少量から乾燥してください | 同じ乾燥物でも厚さ、サイズ、品種などによって乾燥時間が異なります。 |
| 2 乾燥物はトレイになるべく均一になるように敷きつめてください。 | 乾きムラが発生する恐れがあります。どうしてもムラが発生する場合は、乾燥中に乾きにくいトレイと乾きやすいトレイを入れかえてください。 |
| 3 熱い物・冷たい物は外気温度と同じにしてから入れてください。 | 乾燥時間が余分にかかったり、エラーが発生する原因になります。 |
| 4 耐熱温度の低いトレイは使用しないでください。(塩ビ・発泡PS等) | 乾燥中にトレイが変形する恐れがあります。 |
| 5 トレイは底面がメッシュになっている物を使用してください。底面の穴をふさぐような恐れのある紙などを敷かないでください。 | 風の抜けが悪くなり、乾燥ムラ、乾燥不良の原因になります。 |
| 6 塩そのものや、腐食性ガスを発生するような乾燥対象物には使用しないでください。 | 機械が腐食し、故障の原因になります。 |
| 7 トレイ受けの耐荷重は均等荷重で 12kgです。トレイも重さに対応した物をご使用ください。 | 耐荷重以上の重さをかけたり、集中的に荷重がかかるとトレイ受けが変形する恐れがあります。 |
| 8 周囲温度がマイナスにならない環境でご使用ください。 | 排水パイプからのドレン水が凍結すると、乾燥性能を発揮できず、本体に不具合が生じる場合があります。 |
| 9 周囲温度が35℃を超える環境ではご使用にならないでください。 ※干芋乾燥であれば、外気温度が 0～20℃が推奨です。 | 周囲の空気を使って乾燥空気を作るので、周囲温度が20℃を超えてくると乾きが甘くなる場合があります。また、35℃を超える環境で使用されると機器に不具合が生じる場合があります。 |

※乾燥対象物の品質については、当社では責任を負いません。

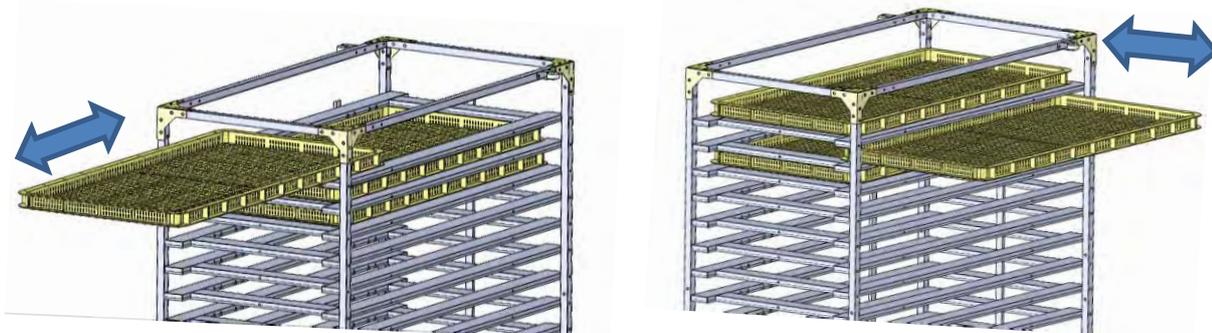
※誤った設置と使用方法による本体損傷は当社では責任を負いません。

本体(台車)の使用について

- ① 乾燥機本体から台車を出します。
台車に付いている取っ手を引っ張り、本体から出してください。

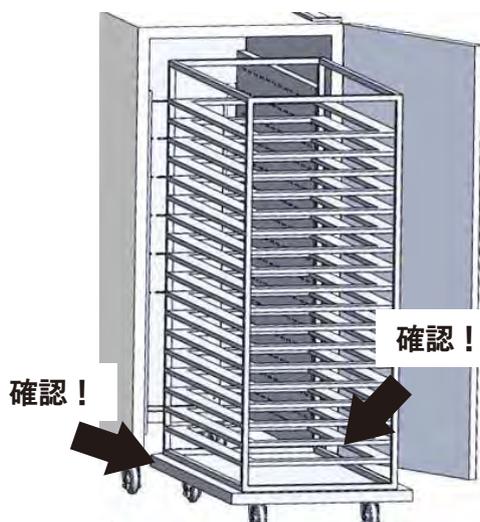


- ② トレイに乾燥物を乗せ、トレイを台車にセットします。
トレイは台車の 側面 / 正面 どちらでも入れることができます。



- トレイに乾燥物が重ならないように均等に敷き詰めてください。
- 乾燥物がトレイに貼り付く場合は樹脂網や網袋を使うと便利です。
- トレイの出し入れはゆっくりと行ってください。

- ③ 台車を乾燥機本体にセットします。
台車を本体に入れる時は、台車についている取っ手を使用してください。



- 台車にトレイを乗せた後は、トレイや乾燥物が落ちないようにゆっくりと動かしてください。
※特に段差を乗り越える際には注意して取り扱ってください。
- 台車のパネルが本体の側面にぶつからないように注意して、ゆっくり入れてください。
- 台車をしっかり奥まで入れてからドアを閉めてください。
- トレーを積載すると前方が見にくくなります。
台車の前や庫内に人がいないか確認してから動かしてください。

初回 試運転について

乾燥シーズンの初めには機械の試運転をお願いします。

- 製品を初めて運転させる際、乾燥機内からヒーターの焼けた臭いがある場合がありますが、故障ではありません。
試運転時は、必ず1時間ほど空運転してください。
- 本製品は熱交換器を使用しています。
シーズン終了時、シーズン初めに熱交換器の洗浄・メンテナンスを行ってください。
※メンテナンス方法については、「日常点検と保管管理」を参照ください。

運転方法は次ページからの「運転方法」を参照ください。
運転モードは「干芋乾燥」、「電気乾燥」どちらでもOKです。

試運転時 チェックリスト

試運転時に下記項目の確認をお願いします。

| NO. | 運転モード | 確認内容 | 確認事項 | チェック |
|-----|-------|------------|--|------|
| 1 | 停止時 | 温度表示 | 現在温度が表示されるか？ | |
| 2 | 乾燥運転時 | 循環ファンの回転方向 | 左右吹出し口から風が出てくるか？ 循環ファン点検口を開けて回転方向確認できます。(販売元確認) | |
| 3 | | 熱風温度 | 現在温度が上昇するか？ | |
| 4 | | 吸気ファン | 吸気ファンが動くか？ (電気乾燥運転時は間欠運転：P19参照) | |
| 5 | | 排気ダクト | 排気ダクトから温風が出てくるか？ | |
| 6 | 冷却運転時 | 吸気ファン | 吸気ファンが動くか？ (冷却運転時は連続運転) | |
| | | 排気ダクト | 排気ダクトから風が出てくるか？ ダクトから異臭がしないか？ | |

使用できるトレイについて

| | メーカー | 商品名 | トレイ 外寸 |
|----|--------|---------|-----------------------|
| 推奨 | 三甲株式会社 | せいろう 7号 | 1210mm × 600mm × 52mm |
| | | せいろう 8号 | |

使用可能なトレイの条件

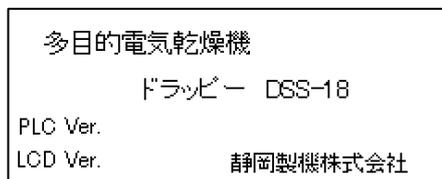
- ・トレイ底面全面がメッシュ状になっていて、温風が流れる物。
 - ・80℃以上の耐熱温度があり、乾燥物を乗せて温風乾燥しても曲がったり、溶けたりしない物。
 - ・乾燥中に水分が付着しても錆びない物。または錆びにくい物。
 - ・トレイ 最大サイズ 幅 600mm × 奥行 1210mm × 高さ 60mm
トレイ 最少サイズ 幅 600mm × 奥行 700mm × 高さ 60mm
- ※小型のトレイを使用する場合、運搬中に落下しない様に注意が必要です。

運転方法

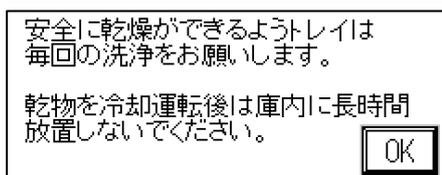
この乾燥機は「干芋乾燥」と「電気乾燥」のふたつの運転モードがあります。ご使用方法に応じ参照してください。

- 初めての運転時には漏電ブレーカーのレバーを「入」にしてください。

- ・ 電源スイッチを「ON」にしてください。
電源が入り、タッチパネルに右の初期画面が表示されます。
初期画面が終わると注意喚起画面に進みます。



- ・ 注意点のご確認をお願いします。
「OK」を押すとメニュー画面に進みます。



- ・ 「干芋乾燥」・「電気乾燥」のうち希望の運転モード
を選択します。



「>」を押すと冷却運転設定画面に移行します。

冷却運転設定については、<19ページ 冷却運転設定について>を参照ください。

| 運転モード | 設定温度 | 機能 |
|-------|--------|---|
| 干芋乾燥 | 40～65℃ | 干芋を乾燥させるのに適したモードです。 目標温度までゆっくり昇温します。 |
| 電気乾燥 | 40～65℃ | 追加乾燥する場合に適したモードです。 目標温度まで短時間で昇温させます。 |

干芋乾燥 運転のしかた

この製品は吸気口から外気を取り込んで乾燥空気を作ります。
干芋乾燥運転をする場合、周囲温度 0～20℃ で行うようにお願いします。
40℃設定にした場合、20℃以上の環境では、十分な乾燥空気が作れず、乾燥不足になる恐れがあります。(特に雨で、湿度が高い場合)

- ・ メニュー画面で「干芋乾燥」を選択すると、「現在温度」、「設定温度」、「残り時間」、「設定時間」を表示します。
メニューに戻る場合は「戻る」
乾燥を開始する場合は「開始」
設定温度を変更する場合は「設定温度」
設定時間を変更する場合は「設定時間」
ボタンを押します。

<干芋乾燥 待機画面>

| | | | |
|------|------|--------|----|
| 干芋乾燥 | 現在温度 | 10 ℃ | 戻る |
| | 設定温度 | 65 ℃ | |
| | 残り時間 | 10.0 h | 開始 |
| | 設定時間 | 10.0 h | |

各ボタンと変更方法・設定画面は下記の通りです。

| 設定値 | 変更方法 | 設定画面 |
|------|---|------|
| 設定温度 | 乾燥運転時の熱風温度を決めます。 「▲」「▼」ボタンで温度を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 | |
| 設定時間 | 乾燥時間を決めます。 「▲」「▼」ボタンで温度を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 | |

- 各値を設定後、「開始」ボタンを押すと乾燥運転が始まり、＜乾燥中＞の表示が点滅します。

乾燥運転を一時停止する場合は、「一時停止」ボタンを押します。残り時間のカウントが止まります。乾燥運転を再開させるときは「運転再開」を押します。

乾燥運転を停止する場合は、「停止」ボタンを押します。

- 残り時間が0になるか、「停止」ボタンが押されると＜冷却運転中＞の表示になります。

冷却運転を停止する場合は、「停止」ボタンを押します。

冷却運転の残り時間が0になるか、「停止」ボタンが押されると、＜干芋乾燥 待機画面＞に移行します。

＜干芋乾燥 運転画面＞

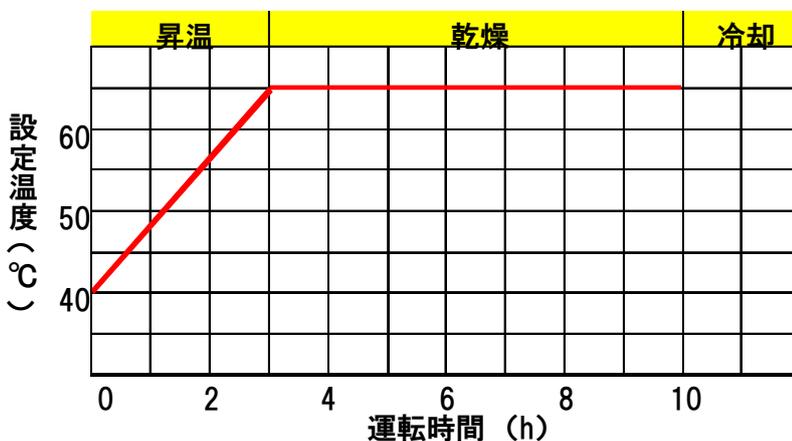
| | | | |
|------|------|--------|------|
| 干芋乾燥 | 現在温度 | 32 °C | 乾燥中 |
| | 設定温度 | 65 °C | 一時停止 |
| | 残り時間 | 10.0 h | 停止 |
| | 設定時間 | 9.5 h | |

＜干芋乾燥 冷却運転画面＞

| | | | |
|------|-------|-------|----|
| 干芋乾燥 | 冷却運転中 | | 停止 |
| | 現在温度 | 55 °C | |
| | 残り時間 | 120 分 | |

※温度、時間の表示は一例です。

干芋乾燥運転 フローチャート



干芋乾燥運転(初期設定)では左記の設定に従って運転します。

- 設定温度を変えると乾燥時の温度が変更になります。
- 設定時間を変えると運転時間を変更することができます。

温度上昇の傾きは変更できません。

電気乾燥 運転のしかた

- メニュー画面で「電気乾燥」を選択すると、「現在温度」、「設定温度」、「残り時間」、「設定時間」を表示します。

メニューに戻る場合は「戻る」
乾燥を開始する場合は「開始」

設定温度を変更する場合は「設定温度」
設定時間を変更する場合は「設定時間」
吸気量を変更する場合は「吸気量」
ボタンを押します。

<電気乾燥 待機画面>

| | | | |
|------|------|--------|-----|
| 電気乾燥 | 現在温度 | 10 °C | 戻る |
| | 設定温度 | 65 °C | 吸気量 |
| | 残り時間 | 10.0 h | 開始 |
| | 設定時間 | 10.0 h | |

| 設定値 | 変更方法 | 設定画面 |
|------|--|------|
| 設定温度 | 乾燥運転時の熱風温度を決めます。 「▲」「▼」ボタンで温度を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 | |
| 設定時間 | 乾燥時間を決めます。 「▲」「▼」ボタンで温度を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 「タイマー運転」、「連続運転」の切り替えをボタンで選択できます。 「連続運転」を選択した場合、「停止」ボタンを押さない限り、乾燥運転は停止しないようになります。 | |
| 吸気量 | 吸気ファンの運転頻度を決めます。 「▲」「▼」ボタンで温度を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 吸気量と乾燥については、<19ページ 吸気量調整について>を参照ください。 | |

- 各値を設定後、「開始」ボタンを押すと乾燥運転が始まり、<乾燥中>の表示が点滅します。

設定温度を変更する場合は「設定温度」
設定時間を変更する場合は「設定時間」
吸気量を変更する場合は「吸気量」
乾燥運転を停止する場合は、「停止」ボタンを押します。

<電気乾燥 運転画面>

| | | | |
|------|------|--------|-----|
| 電気乾燥 | 現在温度 | 32 °C | 乾燥中 |
| | 設定温度 | 65 °C | 吸気量 |
| | 残り時間 | 9.5 h | 停止 |
| | 設定時間 | 10.0 h | |

- ・残り時間が0になるか、「停止」ボタンが押されると<冷却運転中>の表示になります。

冷却運転を停止する場合は、「停止」ボタンを押します。

冷却運転の残り時間が0になるか、「停止」ボタンが押されると、<電気乾燥 待機画面>に移行します。

<電気乾燥 冷却運転画面>



※温度、時間の表示は一例です。

吸気量 調整について

電気乾燥運転では、6段階で吸気量を設定します。10分 1サイクルで下記のような運転となります。設定推奨外気温度を基準に設定をお願いします。

| 吸気量設定 | 設定推奨 外気温度 °C | 吸気ファンの運転 | | | |
|-------|--------------------|----------|-------|------|-------|
| | | 50Hz | | 60Hz | |
| | | ON時間 | OFF時間 | ON時間 | OFF時間 |
| 1 | 0 | 2分 | 8分 | 1分 | 9分 |
| 2 | 5 | 3分 | 7分 | | |
| 3 | 10 | 4分 | 6分 | 2分 | 8分 |
| 4 | 15 | 5分 | 5分 | 3分 | 7分 |
| 5 | 20 | 8分 | 2分 | 5分 | 5分 |
| 6 | 25°C以上 | 連続 | | | |

※吸気量が多い場合、庫内温度が上がりにくくなります。

但し、設定温度まで上昇できれば、乾燥空気が多く作れるため、早く乾燥できる可能性があります。
※目標温度到達後に上記制御に移ります。(未到達時は吸気ファン停止)

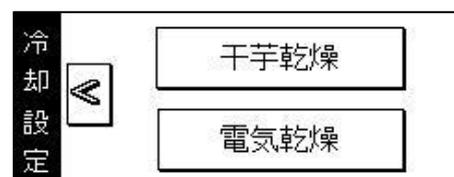
冷却運転設定について

各モードでの乾燥運転後、循環ファン・吸気ファンを連続運転させて、庫内を冷却します。乾燥運転後の乾燥物は冷えてくると水分が表面に出てくる場合があります。庫内にそのまま入れておくと、温度が高い状態で乾燥物が湿る場合があります。冷却運転を行うことにより、水分を多少飛ばしながら乾燥物を冷ますことができます。

※冷却運転では外気温度まで冷やすことはできません。

メニュー画面で「>」を押すと冷却設定画面に移行します。

干芋乾燥運転後の冷却時間の設定は「干芋乾燥」
電気乾燥運転後の冷却時間の設定は「電気乾燥」
メニュー画面に戻る場合は「<」
ボタンを押します。



| 設定値 | 変更方法 | 設定画面 |
|------|---|--|
| 干芋乾燥 | 干芋乾燥運転後の冷却時間を決めます。 「▲」「▼」ボタンで時間を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 |  |
| 電気乾燥 | 電気乾燥運転後の冷却時間を決めます。 「▲」「▼」ボタンで時間を変更し、「決定」ボタンで確定します。 変更しない場合は「キャンセル」ボタンを押します。 |  |

乾燥物が干芋以外の場合

19ページ記載の吸気量設定と外気温度の表は 設定温度が 60℃の場合の参考値となります。
60℃以下の場合にはヒーターに余力があります。
乾燥物の量や乾燥温度を確認し、吸気量設定をしてください。

乾燥対象物の品質については、当社では責任を負いかねます。
初めての乾燥の時は少量で乾燥して、乾燥状態を確認してから量を増やしてください。



注意

塩そのものや、腐食性ガスを発生するような乾燥対象物には使用しないでください。

乾燥中に庫内で舞い上がる恐れのある物(粉物、紙等のシート類)は乾燥対象物にしないでください。熱交換器のつまりやファンの故障につながる恐れがあります。

日常点検と保管管理

日常点検

| 点検箇所 | 点検方法 | 点検時期 |
|------------------|---|--------|
| 庫内・台車・トレイ | 使用毎に清掃し、清潔に保ってください。 | ご使用後毎回 |
| 吸気口 | 吸気口のフィルターにホコリが付いていないか確認してください。 吸気口が塞がれると乾燥能力が低下します。 | 定期点検 |
| 排気口・排気ダクト | 排気ダクト内に水が溜まっていないか確認してください。 水が溜まっていると異臭の原因になります。 | ご使用後毎回 |
| | 排気出口が塞がれていないか確認してください。 | |
| | 排気ダクトは真っ直ぐ、曲りの少ない状態になっているか確認してください。 | 定期点検 |
| ドレンパイプ ドレンホース | 乾燥中にドレンパイプから水が出るか確認してください。 ドレンパイプの先にホースを接続している場合は、ホースの潰れ・つまり・凍結などが無いかな確認をしてください。 | 定期点検 |
| 熱交換器 | ホコリ、乾燥物等のつまりがないか確認してください。 ※熱交換器へのアクセス方法は「保管管理」を参照ください。 | 定期点検 |
| 電源コード | 電源コード・引込み電線に異常がないか確認してください。 被覆が裂けるなど老朽化していると感電や発火の原因になります。 | 定期点検 |

- 乾燥機を安全・経済的に使用するために、普段から点検し、こまめに手入れをしてください。



警告

- 修理資格者以外の方は分解修理は行わないでください。
正常に動作しなくなることにより、火災、感電の恐れがあります。
- 点検や掃除のときには必ず元電源を切ってから作業してください。
感電などの危険があります。
- 電源プラグと電源インレットは定期的に確認し、水濡れ、ホコリ堆積が無いようにしてください。
漏電やトラッキング火災の原因になります。

清掃箇所と方法

- ・ 清掃を行う場合は、電源スイッチ、漏電ブレーカーをOFFにして、必ず電源プラグを抜いてから作業を行ってください。
- ・ 抜いた電源プラグに水が掛からないようにしてください。
- ・ 清掃を行う場合、手袋等の保護具を着用し、ケガのないように注意してください。

本体外側の清掃方法

- ・ 本体についた汚れ等を清掃する場合は、よく絞ったウエスで掃除してください。
- ・ 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。次に洗剤が残らないように水拭きにしてください。
- ・ 水をかけて洗わないでください。
- ・ 吸気フィルターにホコリが付いている場合は、掃除機で吸い取ってください。

本体内側の清掃方法

- ・ 台車を庫内から出して作業を行ってください。
 - ・ 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。次に洗剤が残らないように水拭きにしてください。
- 庫内の材質はSUS304です。



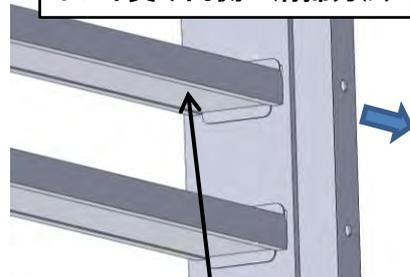
警告

- 庫内の清掃では高圧洗浄機などの洗浄装置を使用しないでください。電気部品が水濡れし、漏電が発生する可能性があります。

台車の清掃方法

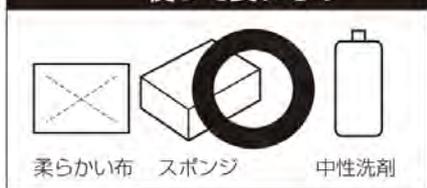
- ・ トレイは抜き取ってから掃除をしてください。
- ・ 台車にトレイを入れたまま洗わないでください。
- ・ 台車に付いたゴミ・乾燥物のクズ、ホコリ等は掃除機で掃除してください。
- ・ こびりついた物は樹脂製ブラシ等でこすってください。
- ・ トレイ受けの内側を掃除する場合は、トレイ受け下側の板を引き抜いて掃除してください。
- ・ 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
- ・ 次に洗剤が残らない様に洗い流してください。
- ・ 台車で使用しているステンレスは SUS304です。
- ・ 台所のステンレスシンクのイメージで洗剤を選定してください。

トレイ受け内側の清掃方法



- ① 底板を上を持ち上げる。
- ② 底板を矢印方向へ引き抜く

使って良いもの



使ってはいけないもの



注意

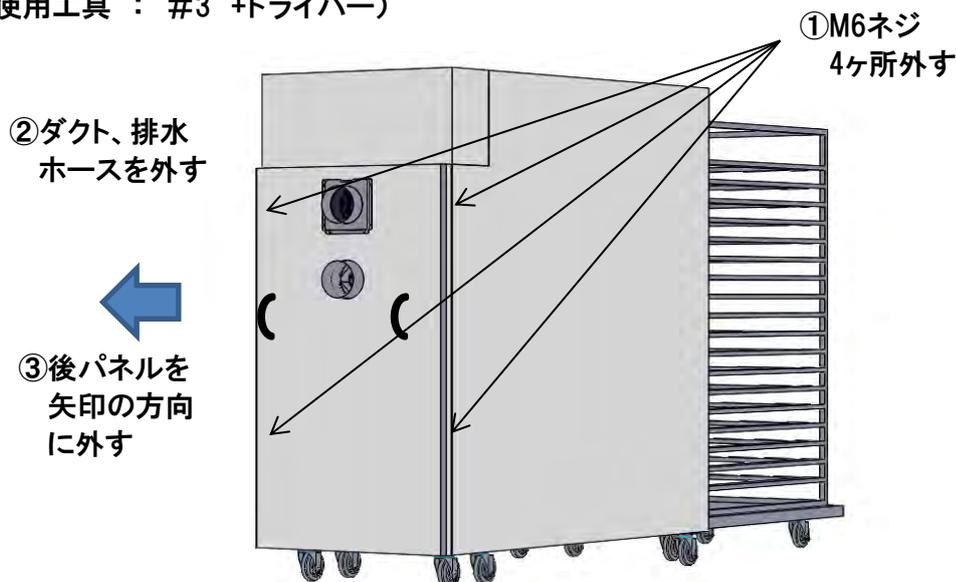
- 溶剤(例えばベンジンやシンナーなど)や強酸性や強アルカリ性の洗剤は使わないでください。機械の安全性に悪影響を与える恐れがあります。

☆☆☆☆ 掃除の後に ☆☆☆☆
 機内に水分を残さないように、設定できる最高温度で 1時間程度乾燥させてください。
 モードは電気乾燥モードがお勧めです。

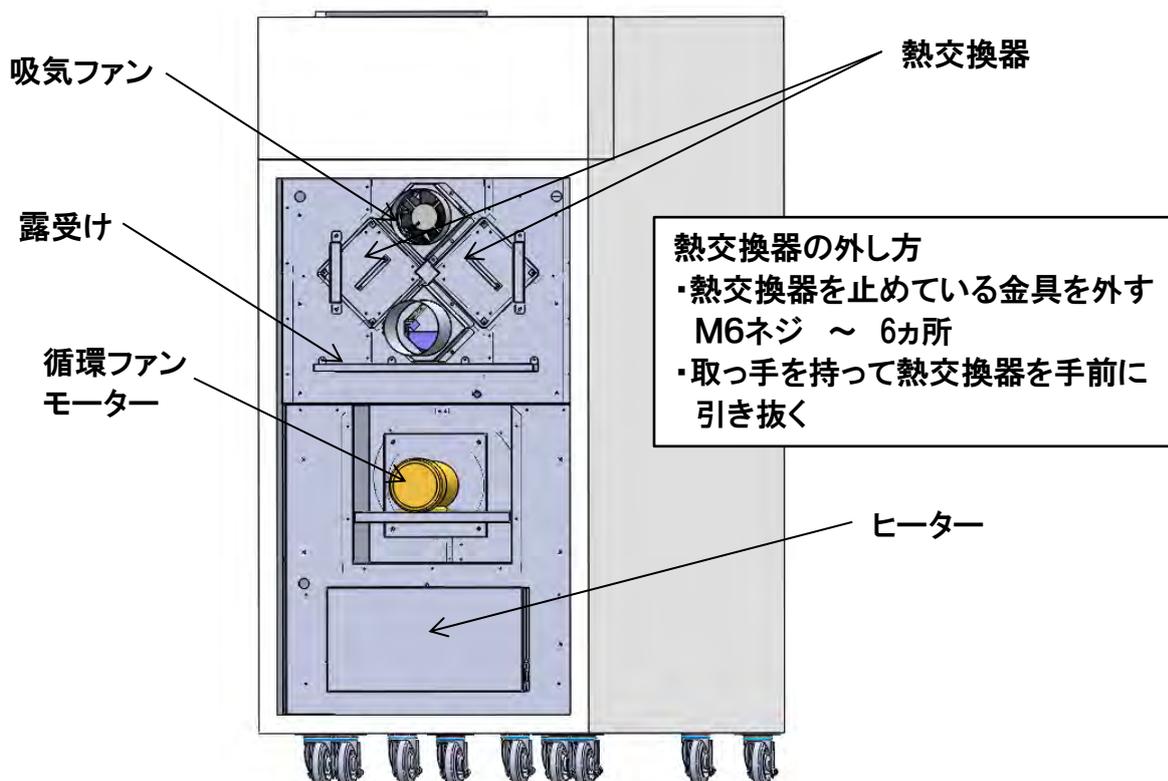
保管管理

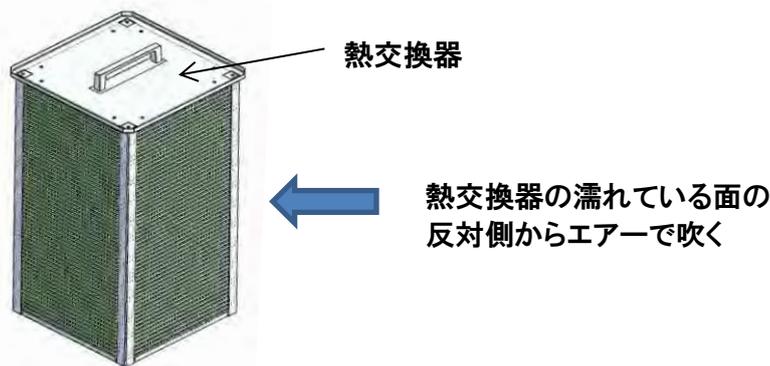
- ・ 後パネルを外し、水分がつきやすい 熱交換器・露受けの水分を拭き取ってください。
 熱交換器はエア等で吹くと飛ばしやすいです。

後パネルの外し方、熱交換器へのアクセスの仕方
 (使用工具 : #3 +ドライバー)



後パネル(メンテナンス用)を外したところ





- ・ 長期保管の前には、一度本体を 1～2時間ほど 設定できる最高温度で空運転させ、熱交換器・排気口等の水気を十分に飛ばしてから保管してください。
- ・ 長期保管の前に排気ダクト・排水パイプ内に水気がないことを確認してください。
- ・ 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜き、直射日光や雨水がかからない室内に保管してください。
- ・ 故障した部位がある場合は、点検・修理してから使用してください。
- ・ 長期間使用しない場合は、庫内にネズミや虫等が入らない様に吸気口、排気口には付属のカバーを取付けてください。
- ・ 台車は庫内にセットした状態で保管してください。



注意

- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
絶縁劣化により感電や火災の原因になります。
- 本体を移動させる場合は必ず電源プラグを抜いてください。
移動中にぶつけて破損する恐れがあります。

- 機器の保管管理をおろそかにすると機器の寿命が短くなるのはもちろんですが、性能の低下を招く場合もあります。
- 特に水分が残っていると、カビ発生等の原因になります。

機械の廃棄について

- ・ 廃棄される場合は、必ずドアを外して廃棄してください。
- ・ 廃棄は廃棄物処理法に基づいた適正な処理をしてください。
(不法投棄は絶対に行わないでください。廃棄物処理法により罰せられます。)
- ・ 地域により廃棄方法や区分が異なります。
- ・ 詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
- ・ 廃棄には費用が掛かりますので、お客様にてご負担をお願いします。

故障かなと思った時には

■ ご使用中に異常が起きた時は、下記の処置に従ってください。

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|----------------------------|--|--|
| 電源スイッチをONにしてもタッチパネルが表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ・ DC24V電源の故障 ・ タッチパネルの故障 ・ 引込み電線の欠相・結線不良 ・ 漏電ブレーカーがOFFになっている ・ または漏電ブレーカーが作動した ・ 電源コネクターが差し込まれていない ・ 停電状態である | <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店に点検を依頼してください ・ 漏電ブレーカーをONにしてください ・ 再び作動する場合は、販売店に点検を依頼してください ・ コネクターを差し込んでください ・ 通電を待ってください |
| 「E1 温度センサ故障」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ センサーの断線 ・ センサーコードの接続不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 「E2 庫内高温異常」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱い物を庫内に入れた ・ 前回乾燥終了直後の運転 ・ ヒーター駆動リレーの故障 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥物は室温まで冷ましてから入れてください ・ 次の乾燥までは一度庫内を冷ましてから乾燥してください ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 「E3 ヒーター過熱」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環ファンの故障 ・ 過熱防止器コードの断線・接触不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 「E4 循環ファン過負荷」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環ファンがロックした ・ コードの断線・接触不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 「E5 ヒートシンク過熱」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートシンクが汚れている ・ コードの断線・接触不良 ・ 電装ボックスまわりに熱が籠っている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店に点検を依頼してください ・ 熱が籠らない場所でご使用ください |
| 「E6 庫内低温異常」の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアが開いている ・ 台車が入っていない ・ 乾燥物が多すぎる ・ ヒーターの断線 ・ 電源の欠相・結線不良 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアを閉めて乾燥してください ・ 台車を入れて乾燥してください ・ 乾燥物を減らして乾燥してください ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 温度が上昇しない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 室温が低い ・ 乾燥物の水分が多い ・ 乾燥物が多すぎる ・ 乾燥物の温度が低い ・ ヒーターの故障 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 0℃以上の環境で使用してください ・ 量を減らして乾燥してください ・ 水分が減るまで乾かして待ってください ・ 量を減らして乾燥してみてください ・ 冷凍品は解凍してから乾かしてください ・ 乾燥物が温まるまで待ってください ・ 販売店に点検を依頼してください |
| 乾燥がうまくできない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥物が多すぎる ・ トレイの中が不均一 ・ 外気温度が高く、湿度の高い日に乾燥した ・ トレイの穴をふさいでいる ・ 吸気フィルターが汚れている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 量を減らして乾燥してください ・ トレイ内を均一にしてください ・ 乾燥前にバラつきが多い物は、均一乾燥がむずかしいので、なるべく揃えてください ・ 薄くスライスし、量を減らし、設定温度を高くして乾かしてみてください ・ 紙やクッキングシート等でトレイの穴をふさがないでください ・ ホコリが付いていれば取り除いてください |

| 症状 | 考えられる原因 | 処置 |
|------------------|--|--|
| 乾燥がうまくできない | <ul style="list-style-type: none"> 吸気口・排気口がふさがっている 排気を吸いこんでいる ドレンパイプ(ドレンホース)から水が出ない | <ul style="list-style-type: none"> 吸気口カバー、排気口カバーが付いていないか確認をしてください 排気口に排気ダクトを付け、吸気側に排気が入らないようにしてください ドレンパイプが詰まっていないか、ドレンホースを付けてる場合は、途中で潰れ・つまり・凍結がないか確認してください |
| 乾燥が均一でない | <ul style="list-style-type: none"> 乾燥物が多すぎる トレイの中が不均一 | <ul style="list-style-type: none"> 量を減らして乾燥してください トレイ内を均一にしてください 乾燥前にバラつきが多い物は、均一乾燥がむずかしいので、なるべく揃えてください |
| 乾燥物の変色する | <ul style="list-style-type: none"> 設定温度が高い 排気を吸いこんでいる 梅雨や夏季は産物によっては品質劣化が早くなる | <ul style="list-style-type: none"> 設定温度を低くし、乾燥時間を長くしてください 排気口に排気ダクトを付け、吸気側に排気が入らないようにしてください 薄くスライスし、量を減らし、設定温度を高くして乾かしてください |
| 設定温度以上に庫内温度が高くなる | <ul style="list-style-type: none"> 排気を吸いこんでいる 熱い物を庫内に入れた | <ul style="list-style-type: none"> 排気口に排気ダクトを付け、吸気側に排気が入らないようにしてください 室温まで冷ましてから入れてください |

製品仕様

| | |
|---------|---|
| 型式 | DSS-18 |
| 電源電圧 | 三相 200V 50/60Hz |
| 消費電力 | 4630W / 4750W |
| 温度調節 | 干芋乾燥 40～65℃ |
| | 電気乾燥 40～65℃ |
| 断熱材 | 高密度ポリウレタン 50mm厚 |
| 循環ファン | シロッコファン 定格消費電力 270W / 400W |
| 吸気ファン | 軸流ファン 定格消費電力 50W / 48W |
| 使用環境温度 | 0～35℃ ※1 |
| ヒーター | シーズヒーター 1430W × 3本 |
| | 電熱装置の定格消費電力 4290W |
| 漏電ブレーカー | 3P 20A 感度電流30mA 高速型 |
| 外形寸法 | 幅 1000 × 奥行 2140 × 高さ 2125 |
| 本体質量 | 370kg |
| 付属品 | 取扱説明書 1冊、アルミダクト 1本、ダクト用バンド 1個 電源コネクター 1個、吸気・排気カバー 2個、掃除ブラシ 1セット ドレンホース(防虫キャップ付) 1本、ホースサドル 2個 ストッパー類取付説明書 1枚、アンカー固定金具 4個 ドアストッパー 1個、タレ防止金具 1個、タレ防止キャスター 1個 |

※1 干し芋乾燥をする場合は、推奨使用温度 0～20℃です。
(但し、排水パイプを使用する場合は凍結しないこと)

保証とアフターサービス

保証書

- 次ページが保証書となります。
- 製品保証書に記載されているように、一定期間、一定条件のもとに無償修理します。
- 製品保証書を無くされますと、無償修理期間であっても修理費を頂く場合がありますので、大切に保管してください。
- 保証期間は納入日から1年間です。

修理を依頼される時

- 万一故障と思われることがありましたら「故障かなと思った時には」を参照頂き、ご確認ください。なお異常がある時は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。
- 保証期間中は製品保証書の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理により「多目的電気乾燥機」の機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。(修理代金:部品代+技術料+出張料)
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
(性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。)

製品保証書

製品保証書 [保証期間 1年]

| | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 型式 : DSS-18 | 製造番号: 一 |
| お客様記入欄 お名前 ご連絡先 ご購入日 | 販売店様記入欄 販売店様名称 販売店様連絡先 印 |

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。
 - (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等
 - (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等
 - (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等
 - (二) 使用損耗や経年変化により発生する現象
 - (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合
 - (ヘ) その他上記に準ずるもの
- (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (イ) 保証書の提示がない場合
 - (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合
 - (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等)
- (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。
- (5) お客様がご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。
- (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。【 This warranty is valid only in Japan. 】

 **静岡製機株式会社**

◎販売店に連絡がつかない場合は、最寄りの弊社営業所もしくは
営業本部へご連絡ください。

 **静岡製機株式会社**

| | | | |
|--------|--------------------------------|---------------------|---------------------|
| 北海道営業所 | 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 | TEL. (011) 781-2234 | FAX. (011) 780-2273 |
| 東北営業所 | 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号 | TEL. (0229) 23-7210 | FAX. (0229) 21-1330 |
| 新潟営業所 | 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号 | TEL. (025) 287-1110 | FAX. (025) 257-1197 |
| 関東営業所 | 〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1 | TEL. (0297) 73-3530 | FAX. (0297) 70-1137 |
| 中部営業所 | 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 | TEL. (0538) 23-1725 | FAX. (0538) 23-1726 |
| 北陸営業所 | 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52 | TEL. (076) 249-6177 | FAX. (076) 240-9333 |
| 関西営業所 | 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8 | TEL. (06) 6432-7890 | FAX. (06) 6434-2184 |
| 中四国営業所 | 〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12 | TEL. (086) 244-4123 | FAX. (086) 244-9300 |
| 九州営業所 | 〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1 | TEL. (0944) 88-9793 | FAX. (0944) 88-9794 |
| 営業本部 | 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 | TEL. (0538) 23-2822 | FAX. (0538) 23-2890 |

ホームページアドレス <https://www.shizuoka-seiki.co.jp>

10037-208005B